【その他の工夫５選 】

①徹底したランクＣのムシ

・テキストのランクや問題集のランクにＣとあるものはノータッチ。ウォーク問や模試などの４択問題では、問題のランクはＡでも、選択肢ごとに落とし込むとＣランクが隠れている。テキストに載っていないものは復習せず、捨て問の意味で「ステ」と書き込み、以降はムシ

→本試験で未知の知識が問われても「例年そうだもんね」と焦らなくなる効果もある
→問題集によっては解答欄で選択肢ごとに「捨てでOK」と記載してくれているものある
（当時わたしが使ったユーキャンの４択問題集はそうだった）

【②序盤は問題集を解かない！】

問題と解説を読んでテキストにアンダーラインを引くだけでOK

・１周目はとにかくつらい。そこで**１周目は問題を解かずに「読む」だけ**

問題を読む
⇩
軽く考えてみる（時間かけ過ぎない）
⇩
解説を「読む」
⇩
テキストの該当箇所を黄色マーカーで引く（動画②　線の引き方　をどうぞ！）

☑テキストのここの知識はこうやって問われるんだー！へー！！くらいの気軽さで十分
☑正答をあてに行こうとする×　思考過程や暗記すべき部分を知る◎　それごと暗記◎

これは数学の勉強と一緒で、**悩む時間を捨てて、さっさと答えを見て解法を暗記しちゃった方が、勉強効率がいい。**そもそもなぜ悩むか考えたことがあるだろうか、答えを出すための知識や思考プロセスを持っていないからだ。だったらサッサとそれを仕入れてしまうべき

どうせテキストも問題集も今後繰り返していくことになるので、最初から高い正答率を目指す必要はない。プライドを捨ちゃえば楽！

③勉強の時間効率（タイパ）を考える

「１時間後に代理の小テストをするので勉強してください」
と言われた２人。現在の知識量、与えられた時間、テキスト、肢別問題集もすべて同じと仮定
1 周目から熟考型 A さん　分からない場合はすぐ答えを確認して暗記する B さん
どちらがいい点数を取れるでしょうか？

A さんの１周目

１問に３分悩む
⇩
答え合わせする（テキストに黄色マーカー）
⇩
知識や思考プロセスを確認
⇩
ひと通りを解くだけでタイムアップ

B さんの１周目

１問に１分悩む
⇩
答え合わせする（テキストに黄色マーカー）
⇩
知識や思考プロセスを確認
⇩
余った時間であやふやな部分の
暗記作業もできる

悩む A さん
すぐ答えを確認する B さん
でも２人の到達点は一緒！
悩む時間はもったいない

高得点を狙えるのはもちろん B さんですね。これの繰り返しが本試験です。
A さん２時間使えば、B さんの１時間に到達できそうですよね。
実際には、使える時間は人それぞれなので、A さんはパワープレイで合格点に持っていくことも
可能でしょうが、伝えたかったのは
悩む時間を減らして、暗記する時間を増やした方が、タイパがいい！ということです。

④問題集に取り組む際の意識とは？

☆「理由を経由する」ことを意識☆

問題	理由を経由	正誤判断
A はB から 100 万円の借入金がある。A の兄 C は、A が反対しても、B の承諾があれば、B に弁済することができる。	弁済できるのは「正当な利益を有する者」だったよな。兄の気持ちは分かるが、「妹がヤバい」「親友がピンチ」みたいな状況だけでは「正当な利益を有する」とはみなされないな。 なお、保証人になっているなどの状況であれば「正当な利益を有する者」である。	だ か ら ×だ！

なるべく理由から引っ張ると記憶に残る上に、これは〇の問題だ！のように正誤を覚えるような事態は起きない

https://www.youtube.com/watch?v=3t0oRD9dRCE

暗記地獄から解放！理想的な知識の思い出し方を実際のテキストを使って徹底解説します（司法書士試験・行政書士試験）

⑤復習のタイミングが命！忘却のループを断ち切る「ミルフィーユ型」復習法とは？

・本編４ 失敗談の中、宅建受験で自信がある科目を放置していたら、すっかり忘れてしまったという話を入れています。そうならないためには、以下の流れで勉強するべきです。

〇一般的な勉強の流れ

1 周目

権利関係　→　宅建業法　→　法令上の制限・税　→　5 問免除

2 周目

権利関係…あれ、ぜんぜんおぼえてないや…詐欺と脅迫の違いってなんだっけ？？

という経験はありませんか？

2 周目はすべての科目を 1 周終えた後では遅いのです

そうではなく、ミルフィーユにするのです。行政書士講師の横溝先生は複数科目を進める勉強について「複線化」と呼んでいます

https://ameblo.jp/mizo-pan/entry-12965767794.html

横溝先生のブログ：あれ？複線化してますか？

〇ミルフィーユ型

権利関係

⇩

宅建業法（サブ科目：権利関係）

⇩

2 周目権利関係（サブ科目：宅建業法）

⇩

2 周目宅建業法（サブ科目：権利関係）

⇩

法令上の制限・税（サブ科目：権利関係）

⇩

3 周目権利関係・宅建業法

⇩

2 周目法令上の制限・税（サブ科目：民法）

⇩

5 問免除

このしつこさこそがミルフィーユです。この進め方が一番定着します。

☑周回数は科目ごとに均等である必要は全くない
☑科目の中でも、章ごとにバラツキがあって当然
（ニガテ度合いや重要度が違うので）
☑忘れていないかコワイな…という感覚を大事にし
「気づいたら 1 ヶ月ノータッチだった！」
なんてことがないように！
☑**民法は特に意識的して触れ続けよう！**
毎日少しでもなにかしら取り組むようにしよう
☑周回が浅い段階では
3 日進んで 2 日復習（新規の範囲に取り組まない）
のイメージで！足場を固めるように進むべし

・さらに章ごとに落とし込んでもいました。
1 章→2 章→3 章…10 章→1 章　×
1→2→1,2→3→ …とやるとめっちゃいいです！サッと振り返るだけでもいいので。

Qサブ科目の復習方法とは？
できれば授業を見返してアシベツ解いて、用語のセルフレクチャーまでやれるといいですが、テキストでポイントを振り返るだけでも、記憶喚起の効果があり、放置よりぜんぜんマシです！

〇特に意識すべき科目は「民法」（権利関係）

民法は範囲が「広い・細かい・難しい」の 3 拍子そろった強敵です。
宅建でも行政書士でも、民法は複線化というより「オールウェイズ民法」で、途切れないように意識していました。
テキストを振り返る　アシベツを解く　講義を聴き直す　テキストでアウトプットする　用語の意味のセルフレクチャーなど、毎日少しでも、なにかしら意識的に触れました。なので、民法の教材が一番ボロボロです。

後半、テキストでアウトプットできるようになると、問題集よりも爆速で復習ができるので、本当に早いです。

Q めっちゃ時間かかるよね？
→そうですが、すっかり忘れてしまうより全然いいです！まるっと忘れると、再び理解からやり直しになってしまい、逆に時間がかかってもったいないです。あと、回数をこなすうちに徐々にスピードも上がるので。

- **1 周目：** 1 ヶ月かかった
- **2 周目：** 2 週間で回せた
- **3 周目：** 1 週間で終わった！

このように、正しい方法で繰り返していけば、1 周に必要な期間はどんどん縮まっていきます。
こんなにキレイにいかないかもしれませんが、**繰り返すうちに 1 周を短期間で復習できるようになっていきます**

最終的に「試験直前には、数時間あれば全範囲をテキストでアウトプットして振り返ることができる」という無敵の状態までトレーニングしていきます。

忘れる前にすこしでも触れる。この遠回りに思える「小まめな記憶喚起」の積み重ねが、結局一番の近道であり、直前期の爆発的な伸びを作ります。

おまけ　勉強の順番はどうすべき？

勉強を始めた時期にもよりますが、基本的には時間がかかる民法からやるべきだと思います。

民法　→　法令　→　業法　→　免除　（わたしはコレだった）
民法　→　業法　→　法令　→　免除

のどちらか。時間がない方は配点の高い業法からスタートが合理的かもしれません。
もちろん暗記スライド等を使ってミルフィーユで！！